

由良温泉
国民保養温泉地計画書

令和4年10月
環境省

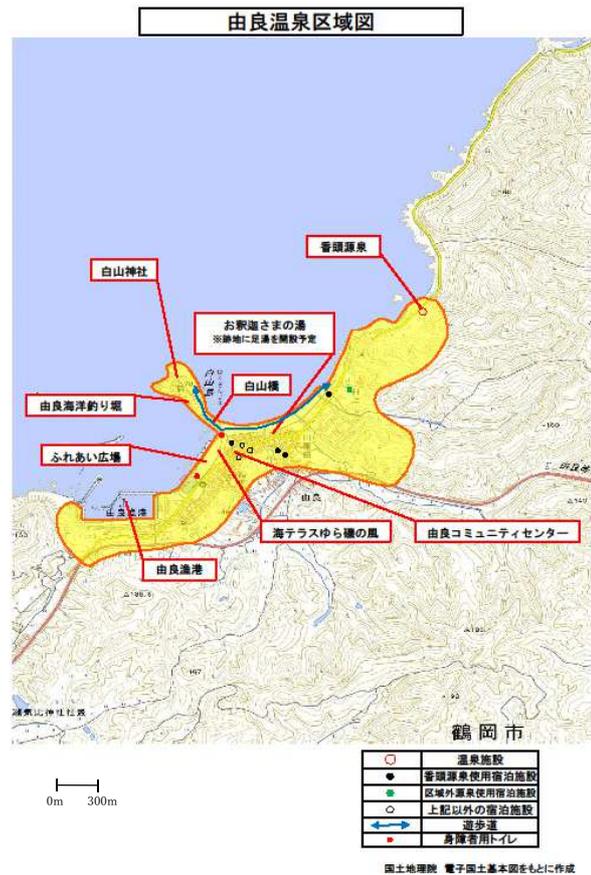
— 目次 —

| | |
|---|----|
| 1. 温泉地の概要 | 1 |
| 2. 計画の基本方針 | 6 |
| 3. 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策 | 9 |
| 4. 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等 | 12 |
| 5. 温泉資源の保護に関する取組方針 | 12 |
| 6. 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策 | 13 |
| 7. 温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策 | 14 |
| 8. 高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画 | 18 |
| 9. 災害防止対策に係る計画及び措置 | 19 |

添付

1. 国民保養温泉地位置図
2. 国民保養温泉地区域図

1. 温泉地の概要



由良温泉は、山形県の西部、庄内地方の鶴岡市の日本海沿岸部に位置し、日本の渚百選、日本の快水浴場百選（環境省選定）に選ばれた、美しい景観と八乙女伝説のロマン息づく由良海岸を臨むリゾート型の温泉地となっている。由良海水浴場から50m程沖に位置する白山島とは、朱塗りの橋で結ばれ、日本海に沈む夕陽は景勝地として多くの観光客に親しまれている。

由良海岸や釣り堀のある白山島を含めた約20haの広さの中に、8つの宿泊施設（源泉を使用していない施設を含む）を有する温泉保養地となっている。

由良海水浴場は、県立自然公園に指定されており、白砂の砂丘が美しく、日本海に沈む夕日と海辺に浮かぶ白山島が織り成す景観が見ごたえのある海水浴場として親しまれている。巡視体制の整備により、安全面でも高く評価されている。渚に隣接して由良温泉施設もあることから、海水浴やサーフィンを楽しんだ観光客が温泉も合わせて利用できる場となっている。

更にこの地域は、歴史的な伝説を伝える八乙女浦の遺跡と、誰もが楽しめる海水浴場、そして新鮮な海産物が味わえる由良漁港、老人から子供たちも気軽に散策を楽しむことができる人工磯場、海岸と朱塗りの橋で結ばれ釣り堀もある白山島で構成され、多機能型リゾート地域でもある。また、地域全体を俯瞰してみると、鶴岡市が誇る4つの温泉地の1つとして、湯野浜温泉、湯田川温泉、あつみ温泉と共に、山形の自然や歴史・文化に触れながら、温泉を楽しむ温泉リゾート・エリアを形成している。

※ 4つの温泉地の特徴

湯野浜温泉：天喜年間に拓かれた歴史ある温泉街。日本におけるサーフィン発祥の地でもあり、マリンスポーツや砂浜でのヨガ体験など、アクティビティも豊富。

湯田川温泉：開湯1,300年を誇る、山や農村の自然あふれる温泉地。歴史的な見どころも多く、羽黒山を中心とした山岳信仰のパワースポット巡りにも最適。

あつみ温泉：川のせせらぎがまちの中心を流れる温泉街。日本古来の焼き畑農法の温海かぶや、日本三大古代布のしな織を体験するコースも充実。

由良温泉：日本の快水浴場百選にも選ばれた美しい景観と八乙女伝説のロマン息づく温泉地。野生のイルカも訪れる海岸には、自然の海を活用した釣り堀も充実。



①由良海水浴場：毎年多くの観光客でにぎわいを見せる。サーフィンのポイントとしても、多くの愛好者に利用されている。また、キャンプが気軽にできるように水道設備も整備されており、近くにはWi-Fi環境も整備された多目的施設“海テラスゆら磯の風”も立地している。



②人工磯場：観光客との交流を図るための人工磯場として、公有水面埋立による多目的広場と駐車場を伴う整備が行われ、地域住民と観光客の交流の場となっている。



③白山島：由良海岸のシンボルである島で、3,000 万年前の火山性噴火によってできたといわれている。高さ 72m、周囲 436mの島で、砂浜から島まで 177mの赤い橋がかけられている。「由良海洋釣り堀」も整備され、多くの釣り人達に利用されている。島内の白山神社は、263 段の石段の頂上にあり、そこからの日本海の眺望は、絶景と評判。



- ④由良漁港：水産庁所管「漁港漁場整備法」の第2種漁港に指定され、県内有数の水揚げ高を誇る漁港。自然地形を生かして漁業の発展がめざましく、山形県の漁港の中で最も重要な位置付けにあるとされている。また、自然景観に優れ、付近の磯釣り場、東側の海水浴場及び背後の温泉とあわせ、観光地としての賑わいをみせている地区でもある。



由良漁港 庄内の冬の味覚、寒ダラ水揚げ

- ⑤八乙女浦：絶壁奇岩と洞窟で知られる。羽黒山の開祖・蜂子皇子が8人の乙女に導かれ上陸したという八乙女伝説の地。



こうした豊富な観光資源を活かし、地元住民が中心となって様々なアクティビティを体験できるオプションツアーを提供している。

- ・フィールドスタディ漁業体験



- ・夕日を眺めながらのバーベキュー体験



- ・ファミリーでも楽しめる釣り堀体験



- ・地元海産物の料理体験



- ・八乙女伝説の学び体験



2. 計画の基本方針

温泉の公共利用を促進していくことによる健康づくりと、海岸に隣接した温泉地ならではの心身のリフレッシュ効果を組み合わせた由良温泉としての価値を、幅広い層に提供していくと共に、時代に合わせた新しい取り組みにもチャレンジしていくことで、未来にもつながる総合的な温泉地の魅力創造を目指していくことを基本方針とする。

また、市内4温泉のネットワークを構築し、鶴岡市が誇る「保養温泉エリア」として一体的なブランディングに取り組むとともに、既に多くの評価を得ている由良海岸の絶景や、夕日を眺めながら散策できる遊歩道（由良海岸入り口を起点に由良海水浴場から白山島に続く、約2kmの遊歩道）、ふれあい広場を通じて体感できる豊かな自然など、由良温泉ならではの魅力創出をさらに進めることで、多様なニーズに対応した新たな保養温泉地としての展開を目指していく。

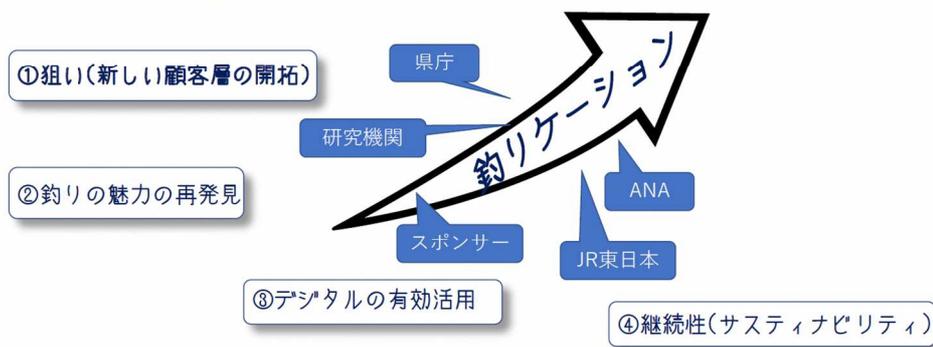
由良温泉では、新しい働き方として注目されているワーケーションに2020年度から取り組み、これまでにモニターツアーやシンポジウムなどの実証実験を実施してきた。今後は、アフターコロナも見据えて、地域観光資源と人的資源を活かしながら、時代にあった新しい観光プログラムを積極的に開発していくことを進めていく。

その第一弾として、官民と地元の連携を強化しながら計画を進めている『釣りケーション』を2021年度より実施し、今後も展開していく予定。ワーケーションという新しい働き方を温泉保養地と組み合わせ、更に恵まれた観光資源である海を活かして、釣りを組み合わせ、由良温泉でしか体験できない魅力的なコンテンツに育てていくことを目標としている。

ベース・コンセプト

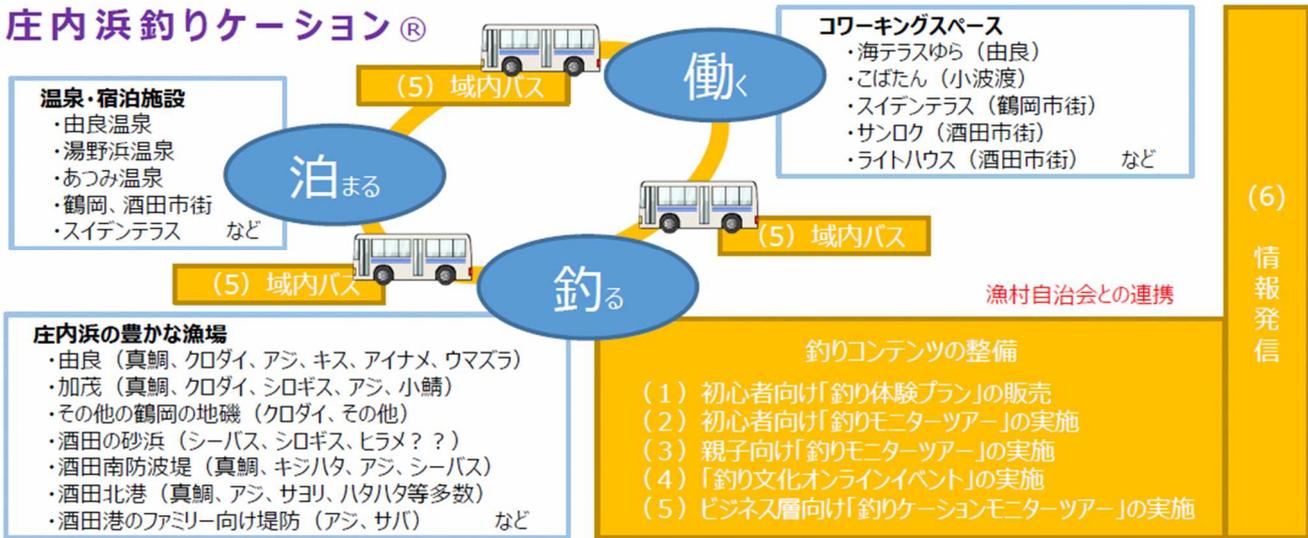
注目を集めるで発展する“釣りケーション(海と渓流)”の流れを活用し、鶴岡の温泉地域全体の活性化につなげる！

庄内で、「釣り」と「ワーケーション」の両方が楽しめる。(海と渓流の活用！)
単に釣りをするだけでなく、庄内の釣り文化や地域の自然や、漁業、くらしに対するリスペクトをベースにして持続可能で、共に創りあげていくイニシアチブ



さらに、2021年度からは観光庁「地域の観光の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」の採択を受け、株式会社ANA 総合研究所と連携し、漁村を中心とした域内連携による「釣・働・泊」プロジェクト「庄内浜釣りケーション」実証事業を展開している。

庄内浜釣りケーション®



事業推進体制

■ 実行委員

| | |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 庄内空港利用促進協議会 | 事業全体の企画、進行管理、感染症対策、委託・発注業務の実施 |
| 庄内観光コンベンション協会 | 観光情報の発信、地域観光事業者との連携・調整 |
| 由良温泉観光協会、由良自治会、由良自治会活性化委員会 | 釣り体験コンテンツの企画・運営 |
| 平尾清氏（山形県鶴岡工業高等専門学校 客員教授） | 地域連携、地域おこしに関わる専門的見地からのアドバイス |
| 中川めぐみ氏（釣りアンバサダー 兼 水産庁政策審議会委員） | 釣りによる観光・地域活性化に関わる専門的見地からのアドバイス |
| 山形県水産研究所 | 水産分野における専門見地からのアドバイス |
| 全日本空輸株式会社 庄内支店 | 事務局、公共交通検証、域外からの誘客促進 |
| ANAあきんど株式会社 庄内支店 | 事務局、地域関係者調整、航空メディアを活用した情報発信 |
| 株式会社ANA総合研究所 | 事務局、進行サポート、効果検証（アンケートの実施・分析） |



■ 連携企業

| | |
|----------------------|----------------------------------|
| 株式会社庄交コーポレーション | 域内交通（空港からの2次交通他）検証、旅行プラン企画、販売、宿泊 |
| The Hidden Japan合同会社 | 釣り体験コンテンツの企画、情報発信、インバウンド対応 |
| 株式会社八幡自動車商会 | 釣り向け車両の開発 |
| 株式会社つり人社 | 釣り専門誌の見地からの釣り情報の収集・編集・発信 |
| ANAX株式会社 | 航空メディアを活用した釣り情報の発信 |

こうした活動に加えて、世界的に求められているSDGsの推進にも、海洋資源の保護や自然環境の保全といった観点から取り組み、ブルーツーリズムの推進にも積極的に取り組んでいく。特にブルーツーリズムとしては、漁村体験の具体的な取り組みとして、以下のようなアクティビティを地元の漁師や地域の人々、プロの料理人と協力しながら提供している。

- ・大漁漁船からの荷下ろし体験
- ・市場で実際の競りと、その仕分け作業体験
- ・流通経路にのらない、規格外魚の地産地消体験（料理体験や食事等）

こうした時代にあった取組を推進していくことで、温泉と自然、地域の観光資源、地元住民、漁師等とのエコシステムを構築し、新しい時代の要請にあった新世代の温泉保養地を目指している。

その方策として、以下の施策を推進する。

- ① 泉源を保護し、持続的に活用できるように、その利用の適正化を図り、温泉湧出量、温度、泉質の変化に常時留意するとともに、効果的・効率的な温泉利用の促進に努める。
- ② 温泉療養に適した施設の整備と、温泉療法医等の関係医療スタッフの確保を図り、温泉の保健的利用のシステム構築を進める。
- ③ 豊かな自然環境を保護しながら、海を中心とした豊富な観光資源を活かした調和のとれた地域づくりを進める。
- ④ 本温泉を国民の健康的かつ健全な利用の場として保つため、歓楽地化することを防止する。
- ⑤ 環境衛生施設を管理維持し、公衆衛生の確保に努める。
- ⑥ SDGs に沿って、“誰も取り残さない取組”を進め、ダイバーシティ環境整備に努める。
- ⑦ ワークেশョンの快適な環境を整えるために、コワーキングスペースや Wi-Fi 環境整備を継続的に進める。

※参考：2020 年度にワークেশョン事業で整備した 100MB 以上の速度を誇る
Wi-Fi 環境とコワーキングスペース『海テラスゆら磯の風』



3. 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全に関する方策

(1) 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の概要

由良温泉は、日本の渚百選/日本の夕日百選/日本快水浴場百選に選ばれた由良海岸に恵まれ、天然の海産資源が豊富な由良漁港を持ち、出羽三山開山の祖（「出羽三山」を開いた）「蜂子皇子」が上陸し、修行の後、羽黒山へと向かった地と伝えられている八乙女伝説を持つ、自然と歴史と文化に育まれた地域である。

由良海岸は東北の江の島と呼ばれる白山島を抱え、四季折々に美しい自然を奏でる庄内随一の景勝地とも言われ、夏は海水浴やキャンプで多くの人々が訪れる。



由良海岸から臨む白山島



由良漁港での水揚げ

日本海の荒海でできた奇岩怪石や立岩、岩礁があり、沖では寒流と暖流がぶつかることから天然の漁場となっている。

海産資源はとても豊富で、鱈や鮎、鰯、赤海老、烏賊、鱒など豊富な魚介類、塩辛や一夜干しなどの加工品など海の味覚が楽しめる。いつでも新鮮で活きのいい海の幸を、心ゆくまで堪能することができる。

さらに、出羽三山の開祖・蜂子皇子上陸の地としても多くの伝説が伝わっている。1400年前、政争で父・崇峻天皇を討たれた蜂子皇子が追っ手を逃れ、海路流浪の旅の果てに由良沖を漂流しているとき、岩の上から八人の乙女が笛を吹き、皇子を招き入れ、その後三本足の烏に導かれ羽黒山へ赴いたと伝えられている。上陸の地・八乙女浦には、時を超えた神秘と伝説が漂っている。



由良海岸にある八乙女像



白山神社例大祭

毎年4月29日に行われる年に1度の由良の祭り（白山神社例大祭）は、500年以上続いていると言われている。海の神様を祀っており、豊漁を祈願する祭りで、白山島の神社にあるご神体を入れた神輿を若者が担いで集落を回る。

祭りのクライマックスは夕方、由良浜から白山島に向けて神輿が海を渡る。その姿は勇敢そのもので、地域の伝統行事となっている。

白山島の頂上にある白山神社は、大同年間(806～809)、加賀の国一ノ宮白山比咩大権現より勧請された。御神徳は、産業・航海・船人の守護神として地域住民の崇敬が最も篤い。

境内地は、白山島の周辺磯を除く全島6,000坪からなっており、明応2年(1493)社殿が創建された。



白山神社



温泉民宿「石川」の玄関

由良温泉の民宿は、昭和の雰囲気漂い、ふるさとに帰省したような家庭的な温泉民宿で、昔ながらの美味しい魚料理が堪能できる。古き良き時代の日本の面影を各所に発見できる楽しみも。



小さな温泉宿「本間義一」の玄関

(2) 取組の現状

由良温泉では、地域活性化組織として由良自治会活性化委員会を発足し、地域の自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持発展に取り組んでいる。由良自治会活性化委員会は、地域にあるステイクホルダーの会議の集合体として機能するように設計されている。

由良自治会 活性化委員会 構成図



☆各構成員が、役割分担して取組みを実施

由良自治会

漁村文化・歴史文化伝承に関すること
協議会の全体調整と統括(事務局)

由良温泉観光協会

グリーンツーリズム体験旅行受入れに関すること

ゆらまちっく

交流人口の拡大を目指し、様々なアクティビティ
の企画/実行を担当

山形県漁業協同組合

魚介類の活用策に関すること
※海鮮レディースは、魚食文化の伝承や魚食普及
のため機動的に活動

漁業者会

漁業文化の
伝承魚食普及に関すること

チームTARA

情報発信イベントの企画立案に関すること

鶴岡市

市役所内や他機関との連絡調整に関すること

(3) 今後の取組方策

由良温泉の魅力ともいえる豊富な地域資源をこれからも維持し継続していくために、以下の方策を進めていく。

- ①地域の温泉資源の更なる有効活用の促進
- ②地元住民が中心となった、地域活性化の推進
- ③釣りケーションなど、官民連携プロジェクトの推進
- ④ワーケーションなど、アフターコロナに向けて新しい観光資源開発への挑戦
- ⑤SDG s など、世界的な関心が高まっている指針との連動制の強化

4. 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等

(1) 医師又は人材の配置の状況

由良温泉では、医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導を行う医師を配置しており、その氏名及び活動の状況等は、以下のとおりである。

| 氏名 | 専門分野 | 活動内容 | 配置年度 |
|-------|------|---|-------|
| 加藤 知邦 | 内科 | 定期的な温泉利用に関する訪問指導や、適応症や入浴方法に関する指導をHPで公開。 | 2021～ |
| | | 温泉事業者を対象に、年1回程度温泉利用についての講義を実施。 | 2021～ |

(2) 配置計画又は育成方針等

由良温泉では、医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師との連携のもと入浴方法等の指導を行う人材を配置することとしており、その計画及び育成方針は、以下のとおりである。

| 人材 | 医師との連携を含めた活動内容 | 配置予定年度 | 育成方針 |
|------------------------|--|-----------|-----------------------------------|
| 温泉利用指導者(スパリエ・インストラクター) | 各旅館において、健康増進及び疾病予防のための温泉利用を安全かつ適切に実施できるよう指導。指導に当たっては、必要に応じ、湯田川温泉リハビリテーション病院の加藤知邦医師（内科医）の助言を受けることとしている。 | 2021～2022 | 宿泊施設の担当者が日本スパリエ協会養成講座を受講し資格を取得する。 |

5. 温泉資源の保護に関する取組方針

(1) 温泉資源の状況

由良温泉の源泉は、由良楮に設置され、掘削深度は1,151mである。1990年から管理されており、1箇所の源泉から動力（10馬力）によって、59℃の温泉100ℓ/minを揚湯している。

泉質は、pH8.1のアルカリ性を示し、1,998mg/kgの蒸発残留物を有するナトリウム・カルシウム-硫酸塩泉である。陽イオン成分としては、ナトリウムに次いでカルシウムイオンが多く陰イオンは硫酸イオンを主成分とする。

| 源泉 | 温度(℃) | 湧出量(ℓ/min) | 泉質 | 湧出状況 | 所有者 | 利用施設 |
|------|-------|------------|------------------|------|-----|------|
| 香頭源泉 | 59.0 | 100 | ナトリウム・カルシウム-硫酸塩泉 | 動力揚湯 | 民間 | 旅館4 |

(2) 取組の状況

由良温泉を枯渇させることなく永続的に利用するため、以下のとおり管理を行っている。

| 源泉 | 取組 | 実施主体 |
|------|--|---------|
| 香頭源泉 | 温度、湧出量の計測を毎日実施。 | 由良温泉（株） |
| | 源泉水位、貯湯タンク水位、各種計器類の計測を毎日実施。 | 由良温泉（株） |
| | 源泉が効率的に利用されているか管理するため、各施設への配湯量の計測を年2～3回実施。 | 由良温泉（株） |

(3) 今後の取組方策

1か所の源泉を適正に管理していることから、源泉の湧出状況が突発的に変化するとは考えにくいですが、(2)に掲げる現在の取組を継続し、温泉の湧出状況の把握に努める。加えて、現在使用している源泉配湯管は1988年に設置したもので老朽化が著しいことから、行政の補助事業も踏まえながら、改修していきたい。

6. 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策

(1) 温泉の利用に当たっての関係設備等の状況

由良温泉において、温泉の利用に当たって使用している設備及び温泉利用の状況は以下のとおりである。

浴用及び飲用利用

| 源泉数 | 浴用利用施設及び飲用利用施設までの設備 | 施設数 | |
|---------|---------------------|-----|----|
| | | 浴用 | 飲用 |
| 1（香頭源泉） | 引湯管、貯湯槽 | 4 | 0 |

(2) 取組の状況

由良温泉において温泉利用に当たって使用している設備について、現在行っている衛生面での取組の状況は、以下のとおりである。

| 設備 | 区分 | 取組 | 実施主体 |
|------|-----|---|---------|
| 源泉 | 自主的 | 源泉（香頭）について、源泉機械室内の点検及び清掃を毎日実施。 | 由良温泉(株) |
| 引湯管等 | 自主的 | 源泉の引湯管等について、クリーニングとバルブ、ドレン等の点検及び清掃消毒を年1回実施。 | 由良温泉(株) |

| | | | |
|------|-----|--|------------------|
| 貯湯槽 | 自主的 | すべての貯湯槽について、点検及び清掃消毒を年1回実施。 | 由良温泉(株) 設備所有者 |
| 浴槽 | 条例等 | すべての浴槽について、毎日（循環ろ過装置を設定している浴槽にあつては、1週間に1回以上）、浴槽水を完全に排出し、清掃を実施。 | 設備所有者 |
| | | すべての浴槽について、十分な温泉水の補給を行い清浄を保持。 | 設備所有者 |
| | | すべての浴槽について、レジオネラ属菌、大腸菌群数等の検査を年2回以上実施。（循環ろ過装置を設置している浴槽については、1カ月以内に1回以上） | 設備所有者 |
| 設備周辺 | 自主的 | すべての設備周辺について、管理者を置き清掃の徹底による衛生保持。 | 由良温泉(株) 設備所有者 |

(3) 今後の取組方策

由良温泉において、さらに温泉を衛生に保つため、実施主体と調整の上、(2)の取組を継続していくとともに、それらに加え、以下の取組を進める。

| 設備 | 区分 | 取組 | 実施主体 |
|------|-----|---|---------|
| 引湯管等 | 自主的 | スケールによる目詰まりを防ぐため、バキュームでの除去作業など行い、塩害及び老朽化も含めた保守管理に努める。 | 由良温泉(株) |

7. 温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策

(1) 温泉の公共的利用の状況

由良には「八乙女伝説」といわれる昔話があり、今から1,400年前に、出羽三山御開祖である蜂子皇子が上陸したと言われている。

また、3,000万年前の火山性噴火によりできた白山島があり、風光明媚なことから鶴岡市のシンボルになっており、県内外から多くの方々が訪れる観光地となっている。

その方々から由良をより一層楽しんでいただきたく、1988年に掘削したところ温泉が湧出した。現在では庄内4温泉のひとつとして位置付けられており、豊富な温泉資源とともに、美しいロケーション、「八乙女伝説」にまつわる貴重な歴史文化、そして新鮮な地魚などの地域資源を活かし、各温泉施設において、日帰り入浴を含め多様なニーズに対応しており、多くの観光客に親しまれる温泉地となっている。

近年の由良温泉の利用状況は、次のとおりである。

①過去3年間の温泉の利用者数

※上段は地域内の温泉施設5施設の利用者数、

下段()内は、うち地域外の温泉の供給を受けている1施設の利用者数

(単位：人)

| 年度 | 宿泊利用者 | 日帰利用者 | 合計 |
|--------|--------------------|------------------|--------------------|
| 2019年度 | 55,187 (14,154) | 5,177 (4,253) | 60,364 (18,407) |
| 2020年度 | 28,720 (7,236) | 1,159 (1,106) | 29,879 (8,342) |
| 2021年度 | 24,156 (4,592) | 1,328 (1,304) | 25,484 (5,896) |

②直近1年間(2021年度)の温泉の利用者数

※上段は地域内の温泉施設5施設の利用者数、

下段()内は、うち地域外の温泉の供給を受けている1施設の利用者数

(単位：人)

| 温泉地 | 区分 | 施設数 | 総定数 | 利用者数 | | | | | |
|------|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------------|
| | | | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | |
| 由良温泉 | 宿泊 | 5 | 316 | 497 (153) | 881 (232) | 1,757 (260) | 2,952 (490) | 4,013 (490) | |
| | 日帰 | 5 | | 148 (148) | 174 (174) | 166 (161) | 71 (71) | 71 (71) | |
| | 合計 | | | 645 (301) | 1,055 (406) | 1,923 (421) | 3,023 (561) | 4,084 (561) | |
| | | | | 利用者数 | | | | | |
| | | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| | | 1,868 (656) | 3,688 (741) | 3,804 (605) | 2,452 (359) | 848 (180) | 285 (111) | 1,111 (315) | 24,156 (4,592) |
| | | 48 (48) | 53 (53) | 40 (37) | 79 (79) | 146 (142) | 152 (152) | 180 (168) | 1,328 (1,304) |
| | | 1,916 (704) | 3,741 (794) | 3,844 (642) | 2,531 (438) | 994 (322) | 437 (263) | 1,291 (483) | 25,484 (5,896) |

(2) 取組の状況

由良温泉では、由良自治会活性化委員会組織（由良自治会、由良温泉観光協会、漁業者会、山形県漁業協同組合婦人部、由良婦人会、ゆらまちつく戦略会議）で事業を共有している。温泉の公共的利用の増進を図るため、現在まで行っている取組の状況は以下の通りである。

| 取 組 | 実施主体 |
|---|----------------------------|
| <p><海水浴等のための環境整備></p> <p>4月から9月にかけて、ビーチクリーナーによる海岸清掃を行っているほか、地元住民による整地、ごみ拾い、漂着物の回収により安全で快適に海水浴を楽しむよう環境整備に努めている。</p> | <p>鶴岡市</p> <p>由良温泉観光協会</p> |
| <p><海水浴場の事故防止対策></p> <p>観光協会が設置する海水浴場に対し、事故防止対策のための補助金の支出、海水浴客が道路を安全に通行するための交通警備、海水浴場事故防止に関する啓発ポスターの作成を行っている。</p> | <p>鶴岡市海水浴場防犯推進連絡協議会</p> |
| <p><公衆トイレの管理></p> <p>地区内5か所の公衆トイレを定期的に清掃し、公衆衛生の維持に努めている。</p> | <p>鶴岡市</p> |
| <p><公共スペースの環境整備></p> <p>遊歩道や多目的広場、緑地等、ウォーキング等の目的で不特定多数の人が訪れるスペースは、定期的に見回りやごみ拾い、草刈り、植栽の手入れ等を行い、安全で快適に過ごしてもらえよう適切な維持管理に努めている。</p> | <p>由良自治会</p> |
| <p><4月29日 白山神社例大祭></p> <p>年に1度の白山神社のお祭りに合わせて誘客を図り、神道文化の発信を行っている。神輿を取り囲んだ行列が由良集落を渡り行き、クライマックスでは夕方、由良浜から白山島に向けて神輿が海を渡る。</p> | <p>由良自治会</p> |
| <p><4月下旬～10月下旬 海洋釣り堀></p> <p>春の大型連休から始まる東北唯一の海洋釣り堀は、東北の江ノ島と呼ばれる白山島に整備されており、多くの家族連れが利用している。</p> | <p>由良自治会活性化委員会</p> |

| | |
|---|--|
| <p><5月～10月 教育旅行> 漁村、海岸地域ならではの体験メニューを整備し、県内外の小・中・高や各種団体の誘客を図っている。</p> | <p>由良温泉観光協会 ゆらまちつく戦略会議</p> |
| <p><7月 ビーチサッカー大会> 由良の地域資源である砂浜を会場に、若者をターゲットとした滞在型のイベントとして開催している。</p> | <p>ゆらまちつく戦略会議 由良温泉観光協会</p> |
| <p><7月中旬～8月中旬 海水浴場の設置> 遠浅の由良海岸は安全性も高く、又、周りの環境も踏まえ、子供から大人まで楽しめる県内有数の海水浴場となっている。海水浴シーズンには、監視員や保健師を配置し、安全で楽しい海水浴場の運営に努めている。</p> | <p>由良温泉観光協会</p> |
| <p><7月～11月 由良港大漁イベント> 由良船主船頭会が中心となり「岩ガキまつり、鮭まつり、大漁まつり、寒鱈まつり」など、漁村ならではの魚介類の販売や食の提供などのイベントを実施している。</p> | <p>漁業者会 漁協婦人会 ゆらまちつく戦略会議 由良温泉観光協会</p> |
| <p><4月～7月 八乙女浦クルージング> 出羽三山御開祖である蜂子皇子が上陸した際、八人の乙女が皇子を招き入れたと言われている八乙女浦へのクルージングを行っている。</p> | <p>ゆらまちつく戦略会議</p> |
| <p><4月～11月上旬 海テラスゆら磯の風> 海沿いのテラスを有する施設は、由良自治会活性化委員会が運営し、海を眺めながらカフェや食事が楽しめる。又、Wi-Fi環境も整備され、ワーケーションのワークスペースとしての利用も可能になっている。</p> | <p>由良自治会活性化委員会 由良温泉観光協会</p> |
| <p><ワーケーション> 新たな働き方としてワーケーションが推奨される中、由良ならではの企画「釣りケーション」や「ファミリーケーション」を紹介し、新たな交流人口を開拓し旅館・民宿への誘客を図っている。</p> | <p>由良温泉観光協会</p> |
| <p><環境保全活動> 「裸足で歩ける由良海岸」をキャッチフレーズに砂浜のごみ問題などの環境保全活動を行っている。</p> | <p>ゆらまちつく戦略会議 由良温泉観光協会</p> |

| | |
|---|---------------------------|
| <p>< SNSによる発信 > ゆらまちつく戦略会議などと共同で、ホームページ・フェイスブック・インスタグラムなどを利用して情報発信を行い、誘客につなげている。</p> | ゆらまちつく戦略会議 由良自治会活性化委員会 |
|---|---------------------------|

(3) 今後の取組方策

由良温泉において、さらに温泉の公共的利用の増進を図るため、環境の保全、環境への配慮に努めながら従来の取組を継続し、新たに健康の回復と増進といった健康づくりの場として機能を加え、それらを統合した温泉地を目指す。

| 取 組 | 実施主体 |
|---|--------------------|
| 肘折温泉で開催している、スパリエマスターの試験に観光協会から1名以上の合格を目標に、温泉利用指導者を育成していく。 | 由良温泉観光協会 由良温泉組合 |
| 由良温泉をより広く周知するため、看板での案内やホームページでの発信を強化していく。 | 由良温泉組合 |
| 2019年に閉館した公衆浴場「由良温泉センターお釈迦さまの湯」の跡地に足湯を設置し、中高年の健康増進と余暇活動の充実に役立て、持続的発展が可能な温泉地づくりを進めていく。 | 由良温泉観光協会 |

8. 高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画

(1) 公共の用に供する施設の状況

| 温泉地 | 区 分 | 施 設 | |
|------|------|--|------------|
| 由良温泉 | 公有施設 | 国道：国道7号 県道：県道50号藤島由良線、県道131号羽前水沢停車場由良線 公衆トイレ5箇所 由良海洋釣り堀、海テラスゆら磯の風 駐車場（県1箇所、市2箇所） | |
| | 私有施設 | 温泉施設 | ホテル2軒、旅館3軒 |
| | | 上記以外 | 旅館3軒 |

(2) 取組の現状

由良温泉において、高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりのため、現在行っている取組の状況は以下のとおりである。

| 温泉地 | 区分 | 施設 | 取組 | 事業主体 |
|------|------|----------------------------------|--|------|
| 由良温泉 | 公有施設 | 広場 | ・多目的広場、芝生広場、東屋の設置（「ふれあい広場」として利用） ・親水エリア水際へのアプローチとしてスロープ設置 | 山形県 |
| | | 緑地 | 漁港関係施設として緑地を整備 | |
| | 建築物 | 身障者用トイレの設置（白山島入口とふれあい広場駐車場内の2箇所） | 鶴岡市 | |
| | 私有施設 | 建築物 | 段差を少なくし高齢者・障がい者に配慮した施設の改修を行っている。 | 各所有者 |

（3）今後の取組方策

由良温泉において、さらに高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりを図るため、実施主体と調整の上、（2）の取組を継続するとともに、それらに加え以下の取組を進める。

| 温泉地 | 区分 | 施設 | 取組 | 事業主体 |
|------|------|-----|---------------------------------|------|
| 由良温泉 | 公有施設 | 案内板 | 外国人旅行者対応のための外国語表記の案内板の設置を検討する。 | 鶴岡市 |
| | 私有施設 | 建築物 | 各施設において手すり取付やバリアフリーの整備をより一層進める。 | 各所有者 |

9. 災害防止対策に係る計画及び措置

（1）温泉地の地勢及び災害の発生状況

由良温泉は、山形県鶴岡市の西側に位置し、日本海側に面している。温泉地の東側は標高128mの山に囲まれ、海辺に浮かぶ白山島を要に、扇状に形成された地域である。

また、土砂災害警戒区域が8か所存在し、庄内の日本海沿岸には、地震を起こす恐れのある活断層が確認されており、山形県が2016年3月に公表した津波浸水想定図では、由良温泉に到達する津波は最大高さ12.7m、津波第一派到達時間が9分とされている。

主な災害の発生状況

| 発生期 | 由良地区の被害状況 |
|-------------|------------------------|
| 1964年6月16日 | 新潟地震により豊浦地区全壊49戸（非住宅含） |
| 1976年10月29日 | 大暴風により白山橋決壊 |
| 2019年6月18日 | 山形県沖地震発生 家屋瓦落下、墓石落下 |

(2) 計画及び措置の現状

由良温泉において現在、災害防止に関し策定している計画及び講じられている措置は、以下のとおりである。

| 計画又は措置 | 計画又は措置の概要 | 実施主体 |
|------------------|--|---------------------|
| 土砂災害警戒区域の指定・実態調査 | 土砂災害防止法に基づき、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われる区域として、由良地区は2008年1月29日に12か所、2009年9月8日に13箇所を指定。また、毎年5月に県、市、地元自治会による土砂災害危険区域実態調査を実施。 | 山形県 鶴岡市 由良自治会 |
| 地域防災計画 | 災害対策基本法に基づき市長が策定し、災害の種類ごとに予防から応急対策、復興にいたるまで、警戒避難体制や各主体の役割などを包括的に計画。行政、自主防災組織、市民等の災害対応体制を確立。 | 鶴岡市 |
| 防災行政無線 | 同報系無線を由良地区に6基、コミュニティセンターに移動系無線1基を配備。緊急放送やモーターサイレンにより災害情報を住民に対し迅速に伝達。 | 鶴岡市 |
| 地域連絡用無線システム | 2013年9月より全戸対象に携帯型無線機(AI・NEED)を配置し、防災行政無線の屋内受信、急用を知らせるボタン機能で近隣への告知が可能。 | 由良自治会 |

| | | |
|-------------|---|---------------------------|
| 各種ハザードマップ | <ul style="list-style-type: none"> ・津波ハザードマップ 2017年3月に津波の浸水想定区域、避難場所、避難所等を記載したマップを作成し、由良地区全世帯に配布。 ・土砂災害ハザードマップ 土砂災害警戒区域は山形県の調査結果に基づき指定され、2011年3月に警戒区域、避難場所、避難所等を記載したマップを作成し、由良地区全世帯に配布。 | 鶴岡市 |
| 津波情報伝達訓練 | 1994年から毎年7月、市海岸部全域での市・地元自治会・事業所・学校等が参加して地震津波避難訓練を実施。防災行政無線や緊急速報メール等による情報伝達を行い避難。 | 鶴岡市 由良自治会 由良自主防災協議会 |
| 津波避難路誘導看板整備 | 一次避難場所への誘導看板の新設および取替を行い津波発生時に速やかに避難出来る様に整備を図る。 | 鶴岡市 由良自主防災協議会 |
| 道路排水工の改良 | 豪雨により由良2丁目3街区で、水路が溢れ道路が冠水するという被害が過去に発生しているため、道路排水溝の改良を講じた。 | 鶴岡市 |

(3) 今後の取組方策

由良温泉において、災害の防止を図るため、実施主体と調整の上(2)の計画及び措置に基づく取組を継続するとともに、それらに加え、以下の取組を進める。

| 取組 | 実施主体 |
|--|---------------------------------|
| <p>土砂災害危険区域実態調査や津波情報伝達訓練を継続して実施し、関係機関と住民との間で災害に関する情報共有を進めることにより、災害対応力の育成。</p> <p>また、「鶴岡市災害時要援護者支援計画」に基づき、避難行動要支援者の抽出と避難支援の体制作りの醸成。</p> | 山形県 鶴岡市 由良自治会 由良温泉観光協会 |
| <p>温泉施設利用者等に対し、避難場所や危険区域を示したハザードマップの提示。災害発生時の避難誘導訓練の継続と避難マニュアルの定期的な見直しを実施。</p> | 由良自治会 由良温泉観光協会 |

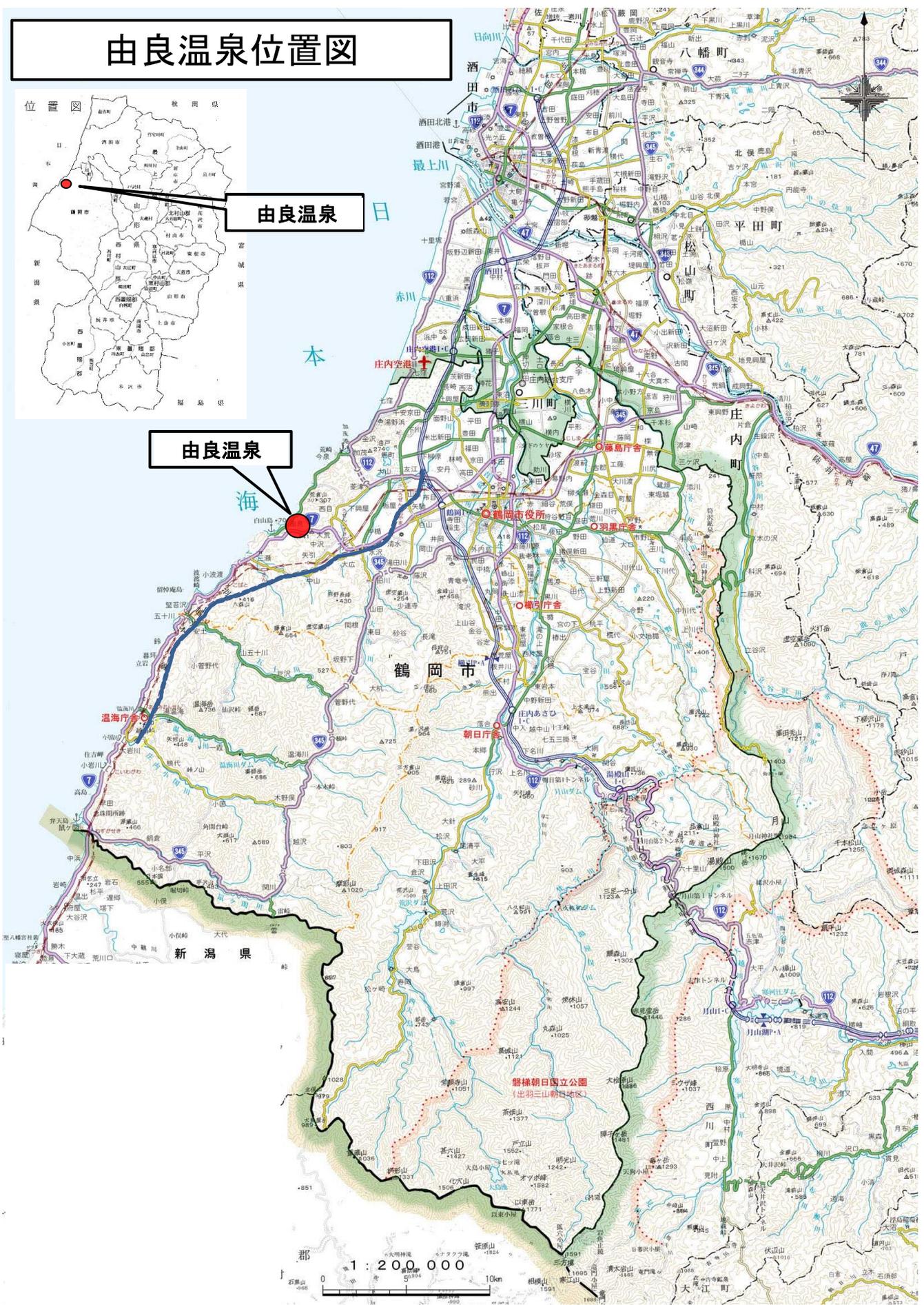
由良温泉位置図

位置図 秋田県



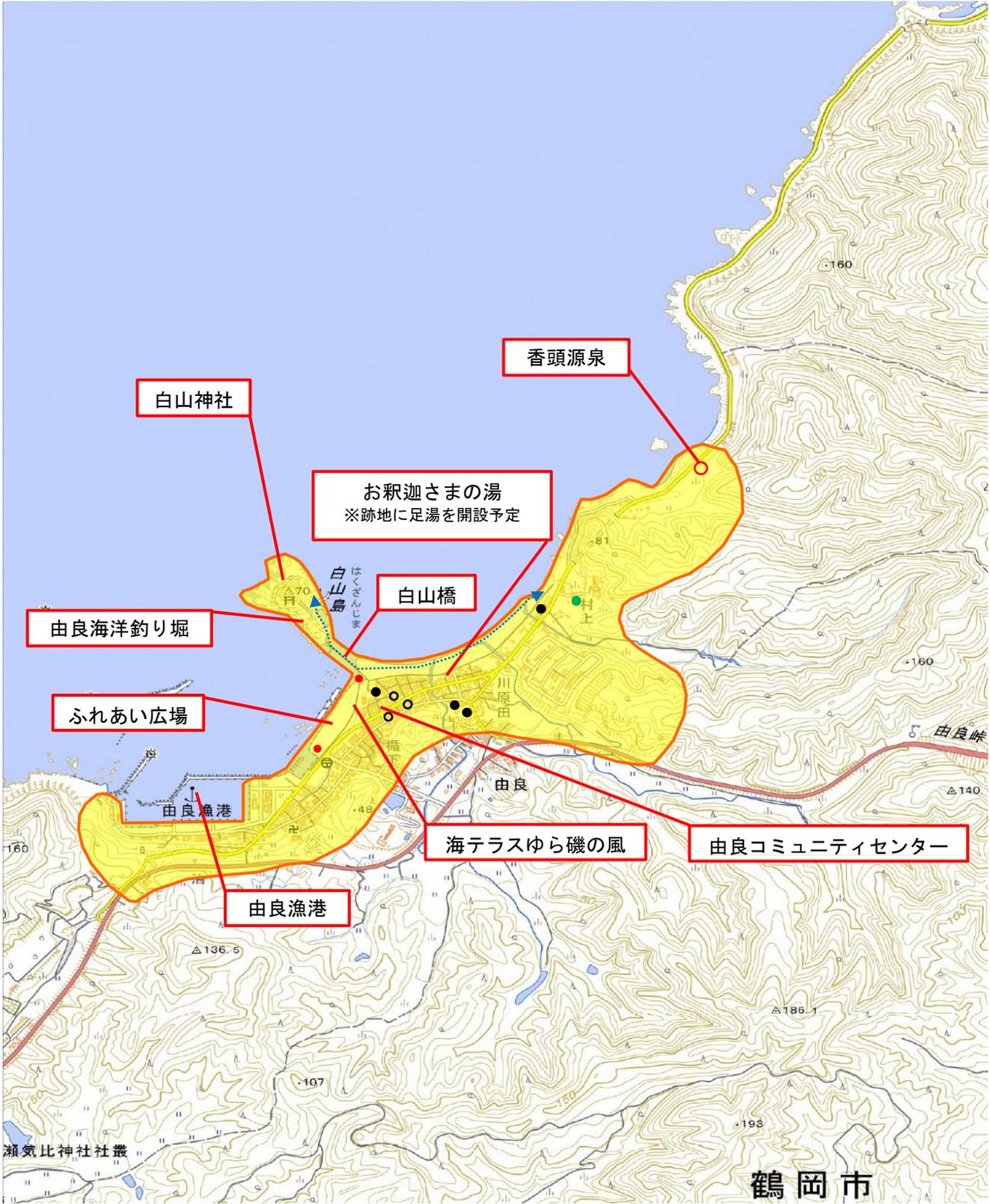
由良温泉

由良温泉



1:200,000
0 5 10km

由良温泉区域図



0m 300m

縮尺 1/18000

| | |
|---------|-------------|
| ○ | 温泉施設 |
| ● | 香頭源泉使用宿泊施設 |
| ● | 区域外源泉使用宿泊施設 |
| ○ | 上記以外の宿泊施設 |
| ←-----→ | 遊歩道 |
| ● | 身障者用トイレ |